

団体名 豊見城市立上田こども園	連絡先 TEL 098-850-7876 Eメール：ueta-you@city.tomigusuku.lg.jp
----------------------------------	--

1 実践事項

「保育の振り返りから考える教育・保育の環境作り」

2 実践内容

- (1) 園内公開保育（3歳児）とフィードバック
- (2) 園庭環境についてのワークショップと園庭環境の改善
- (3) 市主催公開保育（5歳児）と講師（名渡山よし乃）による助言

3 説明資料



3歳児の公開保育後、職員全員でフィードバックを行い、教育・保育の評価・改善についてワークショップを行った。

園庭図面をもとに園庭環境を見直した。子どもたちの遊びと育ちを読み取り、園庭環境について考えた。この場所に〇〇があれば子どもの遊びが発展しそう等、付箋を用いてワークショップを実施した。



市主催公開保育後、指導案作成の具体的な視点について園内研修を実施した。

これまで死角となっていた斜面にフェンスを設置し、オオゴマダラを呼び込めるようにホウライカガミを植栽した。

4 成果

- ・公開保育により、3歳児の子どもの姿、遊びの様子、保育教諭や子ども同士の関わり、担任の環境構成の意図等を学ぶことが出来た。その後のフィードバックでは、幼児理解や教育・保育の展開方法について職員間で話し合うことができ、各々実践のヒントが得られた。
- ・園庭環境についてワークショップ型の研修をしたことにより、職員一人一人の意見が反映され、また、各年齢の遊びから子どもの育ちを読み取り、今後の遊びの発展を予想したり、遊びの導線に配慮した環境づくりを考えたり、共通理解ができた。
- ・園庭の斜面を遊ぶスペースとして使っていなかったが、フェンスを立て植栽物を植えたことで、今後は有意義な場所として活用できるのではないかと期待する。
- ・市主催公開保育より講師の助言を受け、その後、指導案作成について職員間で幼児の姿、ねらい、内容等の記載方法について重点的に研修を行い、指導案の様式を検討、改善した。また、幼児理解の読み取りを深めるための視点について共通理解をしたことで、その後の保育の改善につながった。

5 課題

- ・園内研修と園庭環境づくりの時間の確保。
- ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領の理解と内容に沿った教育・保育の展開と環境構成。
- ・幼児理解を深めていくためにもPDCAサイクルからRPDCA（R=幼児理解）サイクルに基づいた保育の展開。